

# AXIS Device Manager Extendによるデバイスのライフ サイクル管理

3月 2021

# 目次

1	概要	3
2	背景 - AXIS Device Manager & AXIS Device Manager Extend	3
3	クライアントとサイトコントローラーによるデバイスの管理	3
4	AXIS Device Manager Extendのメリット	4
5	一般的なシステム設定	5
	5.1 単一のサイト	5
	5.2 複数のサイト	5
	5.3 プロキシの有無を問わず利用可	6

# 1 概要

AXIS Device Manager Extendは、ソフトウェアアプリケーションです。これにより、システム管理者はインターフェースを利用して、組織のネットワーク上でAxisのデバイスを検出、監視、操作することができます。

本ホワイトペーパーでは、AXIS Device Manager Extendとそのコンポーネントの概要についてご説明します。また、アプリケーションのメリットについて簡単にご説明し、いくつかの一般的なシステム設定をご紹介します。

## 2 背景 - AXIS Device Manager & AXIS Device Manager Extend

AXIS Device Manager Extendは、高く評価されているデバイス管理ツール「AXIS Device Manager」とは別のソフトウェアアプリケーションです。

AXIS Device Manager Extendは、自動システム監視と地理的に離れたサイトを監視する機能により、拡張システムのステータスを管理できる直感的なグラフィカルダッシュボードを必要としているお客様に最適です。

相対的には、AXIS Device Managerは、より幅広い機能を備えています。これは、システムの初期構成またはシステムの存続期間中の保守タスクに適しています。

ソフトウェアのユースケースはそれぞれわずかに異なるため、個別に使用することも、同時に使用することも可能です。いくつかの重複している機能もあり、長期的には、両方のソフトウェアを単一の統合アプリケーションに移行して、統合した機能セットのサポートを提供することを意図しています。AXIS Device ManagerとAXIS Device Manager Extendを組み合わせることで、セキュリティシステムの設置担当者とセキュリティシステム管理者は、すべての主要なインストール、セキュリティ、システムの保守タスクを実施することができます。

## 3 クライアントとサイトコントローラーによるデバイスの管理

AXIS Device Manager Extendは、1つのクライアント（または複数のクライアント）と1つのサイトコントローラー（または複数のサイトコントローラー）で構成されています。クライアントにはユーザーインターフェースが備わっています。また、サイトコントローラーにより、デバイスの検出と管理が可能となります。

クライアントをオンデマンドで、または常に使えるユーザーインターフェースとして使用して、AXIS Device Manager Extendシステムを管理することができます。ローカルにインストールされているサイトコントローラーと一緒に専用マシンで実行することも、サイトコントローラーとは別にリモート接続されているノートパソコンで実行することもできます。クライアントにより、ユーザーは直感的なグラフィカルインターフェースを利用して、システムの全体的なステータスを確認することが可能です。

カメラなどのローカル装置との接続を維持する役割を果たすサイトコントローラーは、常に利用できるオンプレミスの管理サービスです。また、サイトコントローラーは、Axisのサービスプラットフォームへのリンクとしても機能します。このプラットフォームでは、同じAPI機能がリモートで抽象化され、これによりサイトのリモート監視がサポートされます。

AXIS Device Manager Extendクライアントを直接的に接続して、同じローカルネットワーク上の単一のサイトコントローラーを管理することができます。クライアントは、組織のネットワーク全体の複数のサイトにリモート接続することも、ローカルサイトとリモートサイトの両方の組み合わせに接続することもできます。

クライアントとサイトコントローラーはいずれも、必要な処理リソースという点で軽量仕様になっています。これにより、クライアントとサイトコントローラーを1台のPCで一緒に実行できるようになります。また、これらを個別に実行するオプションも選択することが可能です。たとえば、サイトコントローラーは仮想サーバーや元来は他のタスク（VMSでの実行など）を目的としている専用ハードウェアサーバーで実行することができますが、一部の処理リソースは引き続き使用することが可能となります。クライアントはノートパソコンまたは専用サーバーで実行することが想定されています。クライアントとサイトコントローラーのアーキテクチャーでは、1つのシステムで複数のクライアントとサイトコントローラーを構成することができます。

## 4 AXIS Device Manager Extendのメリット

AXIS Device Manager Extendには、システムの現在のステータスを管理できる直感的なグラフィカルダッシュボードが備わっています。ローカルLANで少数の装置を管理している場合でも、複数のLANで地理的に分散した数千の装置を管理している場合でも、このソフトウェアを利用することで、一貫性のある安全な監視とライフサイクル管理が実現します。

AXIS Device Manager Extendを利用することで、装置への接続障害の特定や不安定な装置の特定など、ネットワーク性能の問題に対処することができます。これにより、システム内の個々の装置の保証期間、供給停止日、サポート終了日を表示することで、保守計画をサポートすることが可能となります。

また、重要なイベントがシステムログに自動的に保存されます。これには、ユーザーアクティビティ、装置のステータス、ネットワークステータスなどの項目が含まれます。システムログにより、主要なセキュリティ機能（ISO 27001などで指定されている機能）かつ強力なシステム管理コンポーネントとなる監査証跡を得ることができます。

## 5 一般的なシステム設定

### 5.1 単一のサイト

単一サイトの設定では、ほとんどの場合、クライアントとサイトコントローラーを相互に直接接続して、Axisサービスプラットフォームに接続し、ファームウェアの更新やその他のサポート情報を獲得するという形態となります。

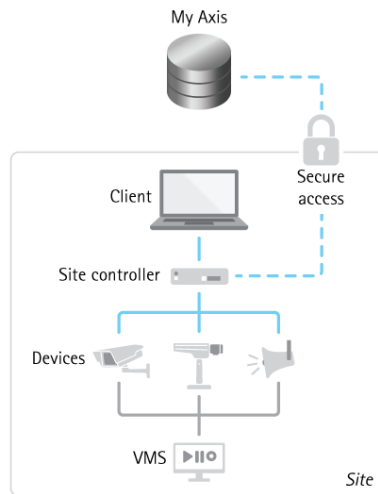


Figure 1. 単一サイト（ローカル）操作の一般的な設定

### 5.2 複数のサイト

クライアントと各リモートサイトのコントローラーが通信することで、組織の個別サイトを管理できるため、効率的に複数のリモートサイトを管理することができます。

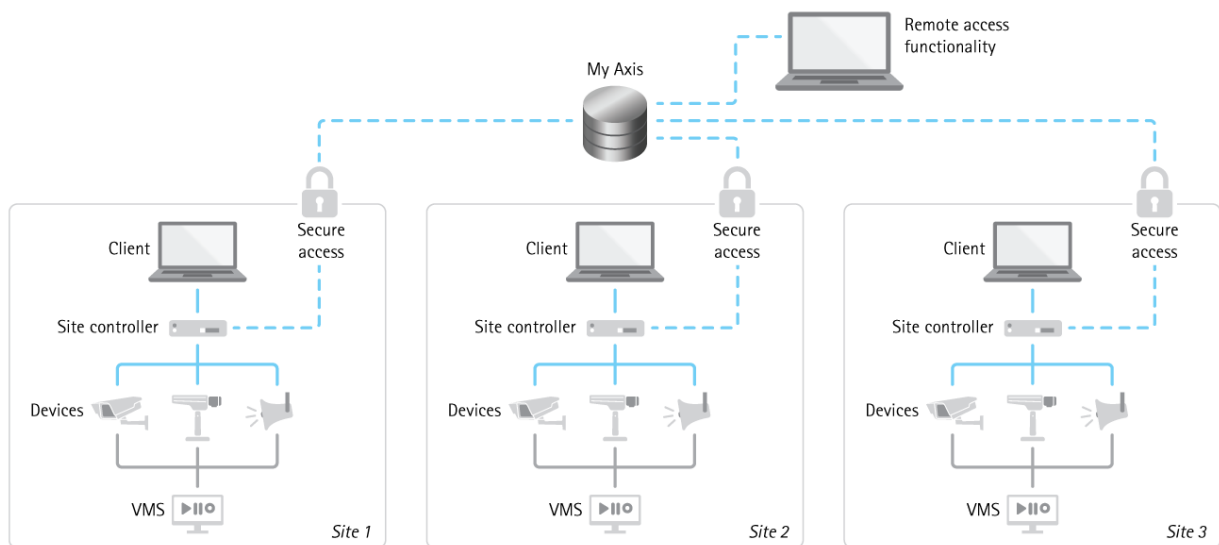


Figure 2. 複数サイトの管理における一般的な設定

### 5.3 プロキシの有無を問わず利用可

サイトコントローラーで利用できる追加機能は、プロキシ指定をサポートするものです。これにより、システム内のすべてのサイトコントローラーを構成して、単一の接続ポイントまたはプロキシ経由で、発信データの接続を設定することができます。

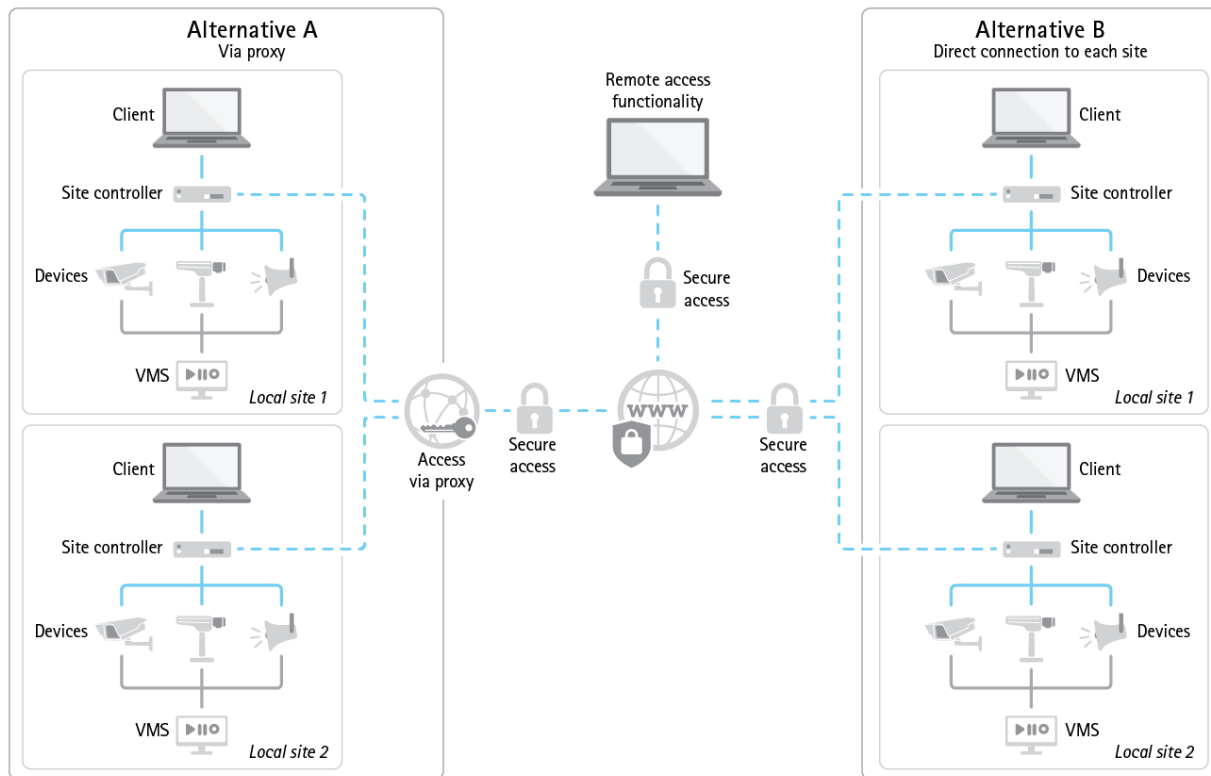


Figure 3. プロキシの有無に関わらず、これは一般的なシステムアーキテクチャーです。



# Axis Communicationsについて

Axisは、セキュリティの向上とビジネスの新しい推進方法に関する洞察を提供するネットワークソリューションを生み出すことで、よりスマートでより安全な世界の実現を目指しています。ネットワークビデオ業界をけん引するリーダーとして、Axisは映像監視、インテリジェントアプリケーション、アクセスコントロール、インターコム、音声システムなどに関連する製品とサービスを提供しています。Axisは50ヶ国以上に3,800人を超える熱意にあふれた従業員を擁し、世界中のパートナーと連携することで、カスタマーソリューションをお届けしています。Axisは1984年に創業し、スウェーデン・ルンドに本社を構えています。

より詳しい情報は[axis.com](https://axis.com)をご覧ください。